

# ～ 真狩村の生涯学習30年のあゆみ ～



【平成24年2月4日生涯学習宣言30周年記念事業】

発行 真狩村・真狩村教育委員会

わたしたちは、高度経済成長のもとで物質万能、使い捨てる時代をおう歌し繁栄の幻影にさらされて、人の心の在り方をなおざりにしすぎてきたきらいがあります。

本村では、いち早くこの点を反省し教育的な風土づくりをめざして、住民総ぐるみで教育を尊重し、学習に励もうとする生涯学習の提唱がなされてきました。

また、現代の潮流もようやく福祉や教育、文化などの生活環境づくりに向けられ、物質的なものから内面的な生活の質の向上を重視し、真の文化的な人間の生活の在り方を希求してまいりました。

いま、わたくしたちは、地域の発展方向であるシンボルマーク「緑と大地とうるおいの郷・真狩」の想像をめざして、住民と行政が一体となり、定住に価する快適な生活環境の整備を進めております。

より豊かに生きることも、よりよい地域社会の形成にも人々の学習によって啓発・増幅されます。常に学び、学び続けることにより調和した新たな社会開発が進み、「村づくりは、人づくりから」の基本理念も、ここから生まれてくるものと考えます。

住む人が「いつでも」「どこでも」「だれでも」学び続ける基盤の確立をはかり理想郷であるシンボルテーマの実現に願いをこめて、この宣言を行います。



## 生涯学習の村宣言

わたくしたちは、しあわせな人生をきづくために「いつでも」「どこでも」「だれでも」学び続ける願いと、住みよい地域づくりを通して「緑の大地とうるおいの郷」の実現を生涯学習に求め

1. より豊かに生きるために自ら学習につとめます。
2. よりよい学習環境づくりにつとめます。
3. よりよい地域社会の創造につとめます。

ここに全村民とともに真狩村を「生涯学習の村」とすることを宣言します。

# 真 狩 村 教 育 目 標

## 「健康で明朗かつ文化的な生産人の育成」

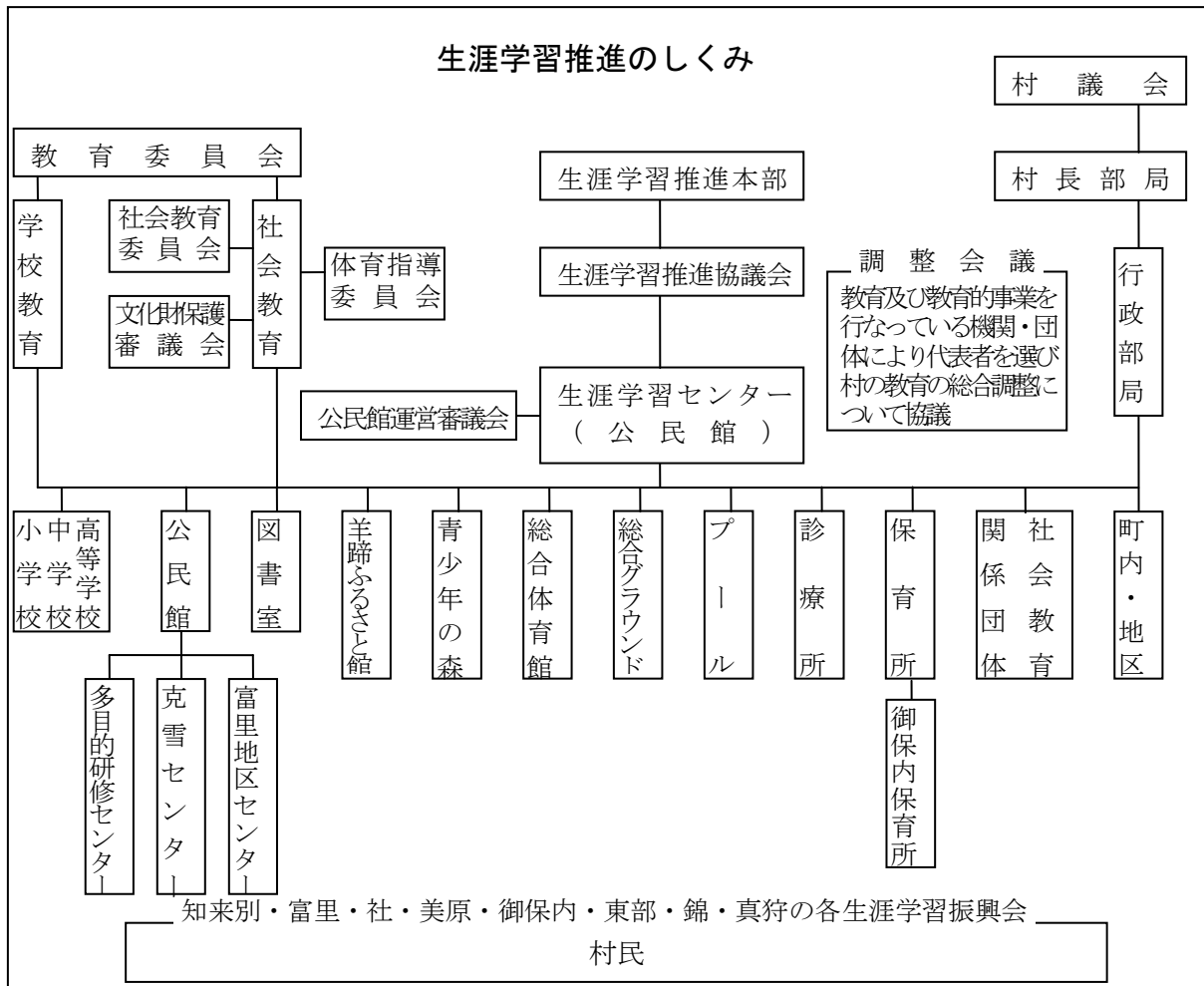
明治28年未踏の原始の荒野にいどみ、厳しい悪条件に耐えながら、今日の緑の大地を切り開かれた先人の強い意志と努力を受継ぎ、真狩村の発展を図り自らの義務と責任を果たす人づくりをめざしてこの目標を定める。

**健康**～人間の一生は、心身ともに健全な体力によって支配されると考えられる。常に全村民が健康管理に努め、明るく平和な家庭、地域社会を形成することに努力するよう心がける。

**明朗**～健全な体力に対応し、常に明朗で、豊かな人間性をつちかい、家庭や地域が明るく伸び伸びとした生活環境をつくる人間形成に努力するよう心がける。

**文化**～過去、現在、未来に立って、創造豊かに、よく物事を考え、対処し判断する人、計画性に富み、何事にも対処し得る人間性を育てることに努力するよう心がける。

**生産人**～健全な体力、苦しみに耐え尚かつ明朗さを失わず、創造性に富み、お互いの人間関係を深める中で、他を理解しながらみずからの職業に誇りをもち、自信をもって努力する人間形成に努める。



## 生涯学習のあゆみ

昭和48年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭・学校・社会教育の有機的な連携と機能統合に向けて検討</li> </ul>	昭和57年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ うるおいとゆとりを求めて～社会教育行政中期計画(第2期)策定</li> </ul>
昭和49年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯教育の視点にたった社会教育計画のあり方(道教委研究指定)</li> <li>■ 生涯教育推進協議会及び研究部発足</li> <li>■ 村民の生活意識及び社会教育に間する意識調査実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯学習読本発行(チームワーク真狩)</li> <li>■ 美原生涯学習会設立</li> <li>■ 御保内地区生涯教育振興会設立</li> <li>■ 富里研修センター落成</li> <li>■ 公民館図書室蔵書数10,000冊計画樹立</li> </ul>
昭和50年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯教育大学開設</li> <li>■ 真狩高等学校「生涯教育的視点からみた定時制農業高等学校のあり方」(文部省定時制通信制教育研究指定校)</li> </ul>	昭和58年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東部地区友の会設立</li> <li>■ 錦町内生涯学習会設立</li> <li>■ 公民館と真狩高等学校を廊下で連結</li> <li>■ 真狩町内生涯学習会設立(全村に地区振興組織完成)</li> </ul>
昭和51年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知来別克雪管理センター落成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校教育と社会教育共同事業として「家庭教育の手引き～子どもの健全な発達を求めて～」作成</li> <li>■ 御保内地区多目的研修センター落成</li> </ul>
昭和52年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会教育行政中期計画～土に生きる～策定(第1期)</li> <li>■ 真狩高等学校存続の基礎資料収集、分析、生涯教育の必要性確認</li> </ul>	昭和59年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校教育と社会教育共同事業として「家庭教育の手引き」学習資料の作成</li> </ul>
昭和53年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 真狩高等学校振興計画の樹立</li> <li>■ 生涯教育広場の提唱</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家庭教育学級を地区生涯教育振興会、学習会単位に組織がえをして実施</li> <li>■ 昭和60年度後志管内生涯教育推進研修会(新規)を開催。(2つの部会で、実例報告を提言)</li> </ul>
昭和54年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知来別地区生涯教育振興会設立</li> </ul>	昭和60年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学校教育と社会教育共同事業として「家庭教育の手引き」学習資料の作成</li> <li>■ 公民館図書室蔵書10,000冊達成</li> </ul>
昭和55年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 真狩村総合計画樹立(シンボルテーマ「緑の大地とうるおいの郷・真狩」生涯教育の村宣言構想を盛り込む)</li> <li>■ 村民の学習意欲に関するアンケート調査</li> <li>■ 公民館新築</li> <li>■ 「余暇指導者銀行」設置</li> </ul>	昭和61年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 郷土資料館「羊蹄ふるさと館」建設</li> <li>■ 農業振興センター落成</li> </ul>
昭和56年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「生涯教育の村」宣言の条件整備についての諮問</li> <li>■ 同答申</li> <li>■ 生涯教育宣言プロジェクトチーム発足</li> <li>■ 富里生涯学習会設立</li> <li>■ 生涯学習の村宣言</li> <li>■ 真狩高等学校新校舎落成</li> <li>■ 「土に生きる・真狩」発行</li> <li>■ 生涯学習の村宣言の塔建立</li> <li>■ 真狩村生涯教育推進協議会、後志管内教育実践表彰(団体の部)受賞</li> </ul>	昭和62年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知来別地区生涯教育振興会10周年記念事業実施</li> <li>■ 郷土資料館「羊蹄ふるさと館」開館</li> <li>■ 90秋. 子どもと聴く夢コンサート(オーケストラ)実行委員会方式実施</li> <li>■ 生涯学習推進特別講演会</li> </ul>
		平成元年度	
		平成2年度	



平成3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 羊蹄ふるさと館フォーラム(八洲秀章フォーラム)</li> <li>■ 生涯学習の村宣言10周年記念のつどい開催</li> <li>■ 生涯学習読本「土に生きる」改訂発行</li> <li>■ 富里生涯学習会10周年記念事業実施</li> </ul>	平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 後志スポーツ少年団リーダー研修会開催</li> <li>■ 第4回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 地区生涯学習振興会連携事業開催</li> </ul>
平成4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第4回社会教育中期計画策定</li> <li>■ 美原生涯学習会、御保内地区生涯教育振興会10周年記念事業実施</li> </ul>	平成11年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いじめ防止さわやか推進事業開催</li> <li>■ 第5回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 国松登ギャラリー開館5周年記念特別展</li> </ul>
平成5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国松登ギャラリー開館</li> <li>■ 東部地区友の会、錦町内生涯学習会、真狩町内生涯学習会10周年記念事業実施</li> </ul>	平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知来別地区生涯教育振興会20周年記念事業実施</li> <li>■ クリスマスコンサート</li> <li>■ 第6回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ クゴルフ選手権大会in真狩開催 わんぱく講座はじまる</li> <li>■ 真狩高等学校、後志管内教育実践表彰(団体の部)受賞</li> </ul>
平成6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公民館図書貸出登録者1000名達成</li> <li>■ 真狩村開基100年記念式典</li> <li>■ 札幌交響楽団コンサート</li> </ul>	平成13年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ IT講習会実施</li> <li>■ 第6回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 真狩中学校開放講座</li> <li>■ 富里生涯学習会20周年記念事業実施</li> </ul>
平成7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一原有徳の世界版画展</li> <li>■ ジャパンカップパークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 第7回全国生涯学習フェスティバル出展</li> </ul>	平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第5回アウトドアスポーツフェア(親子パークゴルフ交流大会)実施</li> <li>■ 木曜館はじまる</li> <li>■ おはなし会はじまる</li> <li>■ 完全学校週5日制アンケート実施</li> <li>■ 国松登ギャラリー閉館</li> <li>■ 御保内地区生涯教育振興会20周年記念事業実施</li> </ul>
平成8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国松登ギャラリー来館1万人達成</li> <li>■ エール大学合唱団公演</li> <li>■ 第2回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 全道生涯学習フェスティバル出展(旭川)</li> <li>■ 地区生涯学習振興会連携事業開催</li> <li>■ 衛星通信利用による公開講座「21世紀の高齢社会とまちづくり」開催</li> </ul>	平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第6期真狩村社会教育中期計画策定(平成15~19年度)</li> <li>■ 「家庭教育の手引き」改訂</li> <li>■ 公民館図書室インターネット導入</li> <li>■ 体験農園マッカリファームはじまる</li> </ul>
平成9年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第5期社会教育中期計画策定</li> <li>■ 第3回ジャパンカップ&amp;読売杯パークゴルフ選手権大会in真狩開催</li> <li>■ 地区生涯学習振興会連携事業開催</li> </ul>		

平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世代間フォーラム開催</li> <li>■ 芸術鑑賞ツアーはじまる</li> </ul>		
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「子どもたちの読書活動推進計画」策定(平成17～21年度)</li> </ul>		
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「子どもたちの読書活動推進計画」事業実施</li> <li>■ ブックスタート事業はじまる</li> </ul>		
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1回細川たかし杯パークゴルフ大会開催</li> <li>■ 生涯学習講座はじまる</li> </ul>		
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第7期真狩村社会教育中期計画策定(平成20～24年度)</li> </ul>		
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ まっかりスクールサポートセンター設立</li> <li>■ 知来別地区生涯教育振興会30周年記念式典開催</li> <li>■ 第1回フロアカーリング交流会開催</li> <li>■ 後志舞踊の会真狩開催</li> <li>■ 絵本作家長谷川義史講演会開催</li> <li>■ 第40回村民大運動会開催</li> <li>■ 第1回真狩歌うまい王決定戦開催</li> </ul>		
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「第2期子どもたちの読書活動推進計画」策定(H22～26年度)</li> <li>■ 後志短歌大会真狩開催</li> <li>■ 木管五重奏ウインドアンサンブル・ホロココンサート開催</li> </ul>		
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯学習宣言30周年記念事業開催</li> </ul>		



文化・スポーツ・農業に地域の連帯を



文化・スポーツ・農業に地域の連帯を... 富里生涯学習会(守谷俊博会長)が設立された。...

村の観光パンフレット



ができました

羊蹄山自然公園施設、観光農園、溪流つりなど村の観光PRのためのパンフレットができました。...

1981年7月号広報まっかり

地域の盛り上がりを期待します

事務局長 末広一夫... このおかげで、地域の盛り上がりを見守ることができると期待しています。...



7.29海水浴(豊浦町)



量をもっと増やして... チーズパンが好き... めん類が大好き... 好ききらいはありません... 生涯学習の村宣言...

一日の栄養の1/3を... 真狩村立学校給食センター... 食生活の改善... 栄養士 吉田 恵美子...

給食費の現状 (昭和56年度)

品名	単価	数量	金額
主食	33円105銭	40円35銭	
副食	111円22銭	140円63銭	
牛乳	28円14銭	28円14銭	
1食単価	172円41銭	209円12銭	
月額	2,800円	3,400円	
年間給食日数	195日	195日	

他町村との給食費との比較

町村名	給食費(円)	日数
真狩村	2,800	195
信知安町	2,800	195
京極町	2,900	195
蘭越町	3,000	195
寿都町	2,750	190
黒松内町	2,800	190
共和町	3,130	195

生涯学習の村宣言... 昭和56年9月25日

生涯学習の村を宣言

第3回定例会村議会で決定... わたくしらは、生涯学習の村を宣言します。...

生涯学習の村宣言の活動スケジュール

区分	名称	対象	時期	場所
青少年教育	ふるまき二子編劇会	小学生以上	8月-9月	青少年センター
青少年教育	伝承歌謡創作教室	小学生以上	11月-12月	青少年センター
青少年教育	こどものつづい劇	小学生以上	5月	青少年センター
青少年教育	習字教室	小学生以上	11月-3月	青少年センター
成人教育	成人アソシアツクサークル	希望者	4月-5月	青少年センター
成人教育	婦人サークル	希望者	4月-5月	青少年センター
成人教育	高齢者サークル	希望者	4月-10月	青少年センター
成人教育	山岳会	希望者	6月-5月	青少年センター
成人教育	山岳会	希望者	6月-5月	青少年センター
成人教育	山岳会	希望者	6月-5月	青少年センター
成人教育	山岳会	希望者	6月-5月	青少年センター

1981年9月号広報まっかり

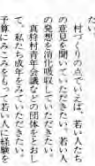
1981年11・12月号広報まっかり







化に欠ける。... 広報まっかり



片野 秀子さん... 広報まっかり



大平 雅彦さん... 広報まっかり



野々村 昭子さん... 広報まっかり

この花壇を見て... 広報まっかり

1983年3月号広報まっかり

みんなで語ろう 真狩の未来 かが村をこうしたい

提言者 ● 小原 巧治さん (真狩高校2年生) 井川 たつ美さん (真狩高校保健室 真狩農協勤務) 田中 恒雄さん (農機) 片野 秀子さん (自営業) 大平 雅彦さん (主婦) 野々村 昭子さん (主婦)



小原 巧治さん... 広報まっかり



井川 たつ美さん... 広報まっかり



田中 恒雄さん... 広報まっかり

1983年3月号広報まっかり

休み時間が待ち遠しくなりました!

御保内小に手作り遊具 PTAが愛の労力奉仕... 子供たちに夢いっぱい遊び場を...

1983年6月号広報まっかり

真狩高校が最優秀賞に輝く

学校農業クラブ 第35回全道実績発表大会... 二月七日、八日の二日間、十勝管内清水町へ行われた...

1984年3月号広報まっかり

# 第2回まっかろ福祉まつり

## 福祉はみんなの心から

**多彩に**

「みんなの手をかりあわせてつくり」をスローガンに社  
会福祉法人村社社会福祉協議会（佐々木正三会長）主催  
のまつり。まっかろ福祉まつりが七月二十六日（金）夜間を  
通じ開催された。

午前十時からの開演は、佐々木会長の挨拶に続き、横  
内村長のあいさつ、後援受戸長、村長会議員らから挨拶が  
あけられた。

会場にはあまみ講義社八ッ丸展、保存食行店展、不  
用品ハザードコーナー、産品回収コーナー、消費啓発売  
店、計量目録大会、高級鉢花店がけられました。また  
四国のさぬきとこのの料理サービス、もちつき大会、ゲ  
ートボール大会、一輪車大会、即興演奏会、剣道大会、田  
子ソフトボール大会、即興パレード、刀や剣道器具大  
会などたくさんのし物が行われ、子供も大人もまっかろ  
に集まり大盛況でした。

「みんなの手をかりあわせてつくり」をスローガンに社  
会福祉法人村社社会福祉協議会（佐々木正三会長）主催  
のまつり。まっかろ福祉まつりが七月二十六日（金）夜間を  
通じ開催された。

午前十時からの開演は、佐々木会長の挨拶に続き、横  
内村長のあいさつ、後援受戸長、村長会議員らから挨拶が  
あけられた。

会場にはあまみ講義社八ッ丸展、保存食行店展、不  
用品ハザードコーナー、産品回収コーナー、消費啓発売  
店、計量目録大会、高級鉢花店がけられました。また  
四国のさぬきとこのの料理サービス、もちつき大会、ゲ  
ートボール大会、一輪車大会、即興演奏会、剣道大会、田  
子ソフトボール大会、即興パレード、刀や剣道器具大  
会などたくさんのし物が行われ、子供も大人もまっかろ  
に集まり大盛況でした。

さぬきうどんはいかが、むつみ食堂  
主婦の方のみ参加です  
子供用の遊具は  
各地で行われている福祉の姿  
お年寄りも楽しんで  
珍らしい遊具  
だっただ田さん万  
遊ぶ皆さん万も具装です

祝 民謡舞踊、カラオケ、演芸ショー  
自慢の芸を披露  
きれいな花をどうぞ

1985年8月号広報まっかろ

## 「サフォーク種」の飼育始まる

### 10頭のめん羊を導入

農家にめん羊を無償で貸し付け、畜産の振興を図ることを目的に本年度よりめん羊の導入が始まりました。

七月三十一日、喜茂別町の農家から十頭のめん羊が到着し、導入先の社地区三戸の農家に引き取られました。

導入されたのは「サフォーク種」の雄一頭と雌九頭。住み慣れた畜舎から見知らぬ所へ連れてこられたせい、トラックから降ろされた時はオドオドした様子でしたが、すぐに牧草を食べはじめると、とても元気。時々「メエ」と鳴いて愛きよぶを振りまいていました。

「サフォーク種」めん羊は、飼育が簡単で肉の需要が高いことから、将来は羊蹄自然公園でニュージランド産の冷凍輸入肉でなく、真狩産の生肉が提供され、さらに羊毛・毛皮を使った民芸品の加工も期待できそうです。

1986年9月号広報まっかろ

## 桂長寿大学が開講

### 高齢者教養セミナー

協議会・事務局長田村博雄さんを招き、高齢化社会に生きるというテーマで講演を行いました。地域社会で高齢者はどう暮らすのか、また村づくりにどうかわかっているのかなど、地域の手と心で、高齢者について語り、約三十名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

○今後の講座は次のとおり  
二回目 十月三十一日  
○村政の現状と今後  
○私達が暮らすにたいに  
三回目 十一月下旬  
○高齢者と生涯学習  
○福祉と高齢者  
○みんなと暮らす  
四回目 十一月下旬  
○高齢者の健康とホトケを助ける  
○子育てと高齢者  
○閉講式  
六十歳以上のみなさん、気軽に参加してください。

第一回目は、徳知堂町社会福祉

1986年10・11月号広報まっかろ

## 真狩の「実り」を紹介



「ふるさと自慢うた自慢」後志地区大会出場

'87  
**11**  
No.303

'87北海道ニューフロンティアフェスティバル「ふるさと自慢うた自慢」後志大会が10月11日伊知安町公民館で行われました。後志の20市町村すべてが集まり、「ふるさと自慢」というタイトルにふさわしい熱の入った紹介がされていました。真狩村は、農産物紹介というタイトルで、ユリの花、ユリ根、ジャガイモ、アスパラを紹介しました。

昭和62年11月10日 発行 / 北海道虻田郡真狩村 編集 / 財政課広報統計係

1987年11月号広報まっかり



## 37年の歴史に終止符 真狩村森林組合解散式

真狩村森林組合（篠内季明組合長、会員二百二十七名）の解散式が四月二十二日、公民館で行われ組合三十七年の歴史に幕を閉じました。この森林組合は昭和二十六年に設立、造林の推進、林産物販売の経営などの活動に貢献してきました。最近では、林業の衰退や森林施業の低迷などの理由により組合としての事業が実施されなくなりました。森林政策の推進と森林組合の質的向上、執行体制の強化を目的に、道内でも有数の森林組合である真狩村森林組合（清水時夫組合長）と合併することとなり、今回の解散式にいたったわけです。今回の解散式には、関係者約七十人が参列。森林組合の常務理事を務めた森崎清三さん、藤川孝さん、故大西勤さんの三人に感謝状が贈られた後、篠内季明組合長の式辞、五月一日の合併後、事業を引き継ぐことになった清水時夫、真狩村森林組合長の挨拶のあいさつが述べられました。

1988年6月号広報まっかり



ふれあいを広げて明るい村づくり

「にきわった ふれあいの広場'88 まっかり」

真狩村社会福祉協議会（篠内季明組合長）が主催する「にきわった ふれあいの広場'88 まっかり」が、五月十三日、公民館で行われました。この日は、真狩村の各町会、各団体の代表者が集まり、交流の場となりました。また、この日は、真狩村の各町会、各団体の代表者が集まり、交流の場となりました。また、この日は、真狩村の各町会、各団体の代表者が集まり、交流の場となりました。



'88  
**11**  
No.314

昭和63年11月1日 発行 / 北海道虻田郡真狩村 編集 / 振興課地域振興係

1988年9月号広報まっかり

1988年11月号広報まっかり



# 真狩のジャガイモが 全国区に

紹介  
日本農業新聞が

真狩村のジャガイモが全国で紹介されました。この新聞記事は1月6日から3日、東京ドームで開催された「ふるさとフェア'89」の期間中、竹下首相が真狩コーナーを訪れ、ジャガイモを購入、その様子が掲載されたものです。中でもこの記事をもとに真狩のジャガイモが全国に知られるようにと期待しています。

昭和64年(1989年)1月7日(土曜日) 日本農業新聞



**「ふるさとフェア'89」開幕  
お国の特産品づくり**

東京ドーム

真狩村の特産品「真狩の男爵いも」が、ふるさとフェア'89の開幕式で展示された。真狩村長は、この機会に全国の消費者に真狩のジャガイモの魅力をアピールし、全国的な認知度を高めることを目指している。

真狩村の特産品「真狩の男爵いも」は、その独特の風味と食味から、全国的に人気を博している。このフェアでは、真狩村の特産品コーナーが、多くの来場者の注目を集めた。

真狩村長は、このフェアを通じて、全国の消費者に真狩のジャガイモの魅力を伝え、全国的な認知度を高めることを目指している。また、真狩村の特産品づくりを推進し、地域の活性化を図りたいと考えている。

1989年2月号広報まっかり

# 広報 まっかり



**大野原町一行が来村し 靉王太鼓を披露**

真狩村の靉王太鼓は、その雄大な響きと迫力ある演奏で、多くの人々を魅了している。大野原町一行が来村し、靉王太鼓を披露した。その様子が、まっかりに掲載された。

靉王太鼓は、その雄大な響きと迫力ある演奏で、多くの人々を魅了している。大野原町一行が来村し、靉王太鼓を披露した。その様子が、まっかりに掲載された。

靉王太鼓は、その雄大な響きと迫力ある演奏で、多くの人々を魅了している。大野原町一行が来村し、靉王太鼓を披露した。その様子が、まっかりに掲載された。



平成2年9月1日 発行 北海道紋田郡真狩村 編集 振興課地域振興係

1990年9月号広報まっかり

# 長船さんがオランダへ

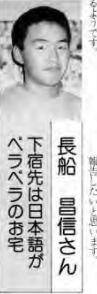
先進地の「花き産業」を研修



**藤沢 祐二さん**  
自転車で通勤  
バラの栽培を勉強中

私は、オランダに研修に行きました。バラの栽培を勉強中です。自転車で通勤しています。

私は、オランダに研修に行きました。バラの栽培を勉強中です。自転車で通勤しています。



**長船 昌信さん**  
下宿先は日本語が  
ペラペラのお宅

私は、オランダに研修に行きました。下宿先は日本語がペラペラのお宅です。

私は、オランダに研修に行きました。下宿先は日本語がペラペラのお宅です。

1991年3月号広報まっかり

**「生涯学習のまちづくり  
100選」に選ばれる**

**「生涯学習宣言の村」真狩に高い評価**

北海道教育委員会が、地域の特色を生かした生涯学習のまちづくりを進めている個人・団体を「生涯学習のまちづくり100選」にこのたび真狩村が選定され、四月十五日認定証の伝達式が行われました。

この事業、特色ある活動を進める自の個人・団体の資料を作り紹介することにより、多くの道民に生涯学習に対する理解を深めてもらい、道民一人ひとりによる生涯学習社会を実現させようというものです。

認定証の伝達式では、村内各学校の校長・教頭が出席、後志教育局の局長・次長より教育長に認定証と記念品が授けられ、このあと教育長が「まちづくり100選」に選ばれたことをお祝いし、今後さらに努力していきなさいとのお言葉を述べられました。

1991年5月号広報まっかり





広報 まっかり



泣いて笑ってがんばって

海老名香葉子さんが講演

エッセイストの海老名香葉子さんを招いての「平成4年度村づくり住民のつどい」が2月26日開催されました。海老名さんは昭和61年に夫の落語家・林家三平師匠が亡くなられて以来、おかみさんとして一門30名の弟子の面倒をみながら、各方面で活躍中です。この日は、これまでの人生60年の奮闘ぶりを約2時間にわたり講演、会場は笑いと涙で溢れました。

'93  
2・3

No.359

平成5年3月20日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年2月号広報まっかり

広報 まっかり



大野原町開基350年祭に出演

「昨年十月に姉妹組みした香川県大野原町が今年開基三百五十年を迎え、その記念祭が五月二・四日の二日間開催されました。真狩村からは郷土芸能「浦安の舞」が招かれ、二万人を超える大観衆を前に、赤沼恵さん、石村純香さん、大橋小奈江さん、遠藤洋美さんの四人の舞師が優雅な舞を披露しました。」

'93  
5

No.361

平成5年5月28日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年5月号広報まっかり

広報 まっかり



全道消防大会  
小型ポンプ操作法の部で

やったぜ！初優勝

8月に行われた全道消防操法訓練大会で真狩消防団が見事に優勝しました。真狩消防団が出場した小型ポンプ操作法の部では全道から選ばれた8チームで優勝が争われ、高いレベルの競い合いの中、真狩消防団のより正確な操法が高く評価され、全道トップの成績を収めました。当日は、優勝を祝う街頭パレードも行われ、うれしい知らせに村中が喜びいっぱい包まれました。

'93  
9

No.364

平成5年9月24日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年9月号広報まっかり

広報 まっかり

「文化の村づくり、担って」



11月3日「国松登ギャラリー」オープン

今年7月から共和地区の旧北海道食産工場を改装工事、完成が待たれていた「国松登ギャラリー」が11月3日オープンしました。

国松氏は札幌市在住で北海道を代表する画家。ギャラリーにはこの国松芸術の魅力が伝わる27点の油絵・版画・素描画が展示され、今後村の文化施設の「核」として期待されます。

'93  
12

No.366

平成5年12月1日 発行/北海道虻田郡真狩村 編集/総務課総務係

1993年12月号広報まっかり















「誰にも負けない」  
「特技を持つこと」



広報 まっかり 2000 4

スポーツレポーター  
益子直美さん  
『村づくり住民の集い』で講演

スポーツレポーターの益子直美さんです。現在、日本テレビ「プロ野球中継」のキャスターとして活躍中。村づくりに関する講演活動も積極的に行っています。今回は、村づくりに関する講演の様子をご紹介します。

●発行：北海道虻田郡真狩村  
●編集：総務課総務係

ご家族みなでお読みください。平成12年(2000年)4月1日 No.429

2000年4月号広報まっかり

落語家 立川志の輔さん  
「村づくり住民の集い」で講演



「笑いコミュニケーション」

広報 まっかり 2001 4

ご家族みなでお読みください。平成13(2001年)4月1日 No.438

NHK「だめしてガッテン」や、CM・ラジオなどのさまざまなメディアで活躍中の落語家、立川志の輔さんが来村し、『村づくり住民の集い』で講演しました。

舞台にあがっていきなり花束贈呈を受け立川さん「最初に花束をもらったらもう終わっちゃうように思えますね」と会場を清々させました。

講演は「笑いコミュニケーション」というテーマで進められ、「笑った時間が多かっただけこそ人生の成功者」と語り、「つらいことが起きるときにいがけ笑うが、そしてそれができる人が本当に刺さる人です」と話していました。

落語とは常に生きることと語る立川さんは講演の中で、さまざまな小話を披露しながら「笑うことは嬉しいことですが本当に笑うことができる人は人間だけ。笑うことは体がいい。大いに笑い、自分の体をきちんと維持していいはず生き延びます。」と、「だめしてガッテン生ハーション真狩編」といって講演を締めくくりました。

●発行：北海道虻田郡真狩村  
●編集：総務課総務係

2001年4月号広報まっかり

「長生きの秘訣とは感動すること」

新春



佐藤のりゆき氏 真狩で講演

広報 まっかり 2001 2-3

ご家族みなでお読みください。平成13年(2001年)3月1日 No.427

テレビ番組「のりゆきのトーク北海道」でおなじみのフリーキャスター、佐藤のりゆき氏が来村し、1月26日、講演会が行われました。

佐藤氏が壇上に現れたその印象は「トーク北海道」そのままで、その巧みな話し振りに観客も大いに楽しんでいました。

佐藤氏は講演の中で「自立した夫婦同士がお互いの夢を持って生きていくのが最も良い人生だ。」と述べ、男性と女性がそれぞれ自立することの大切さを語っていました。

また、長生きする秘訣は「どんな小さなことでも感動すること」と述べ、観客も納得の表情で聞いていました。


講演前には、真狩村にはなじみ深い栗柳眞理さんからのメッセージも届いていました。

●発行：北海道虻田郡真狩村  
●編集：総務課総務係

2001年2・3月号広報まっかり

快挙！全国第3位！！

真狩小学校5年生 藤川淳くん  
全国小学生陸上競技交流大会



七月十四日に帯広市で行われた全道小学生陸上記録大会の男子一〇〇mで、見事優勝した真狩小学校五年生の藤川淳くんが八月二十四日、東京の国立競技場で開催された全国小学生陸上競技交流大会の男子一〇〇mに出場、三位という素晴らしい結果を獲し、その実力が全国トップクラスの實力を証明！

トップクラスであるというのを証明しました。この日の体調は決して良くはなく、また向かい風でもあったのでコンディションも良いとはいえませんでした。しかし、決勝では各県の強豪と競り合い、二秒六三という好タイムで三位入賞となりました。

藤川君は入賞してうれしかったけど、やっぱり悔しさはあります。もっと練習しとけばよかった」と、自分の結果には決して満足していない気持ちを述べ、「来年も全国大会を目指したい」と、そして今度は優勝を狙っていきなさい」と来年への目標を語ってくれました。

2002年10月号広報まっかり



元読売ジャイアンツ投手 植原寛巳氏  
「村づくり住居のつどい」で講演



2003 3 No.458  
**まっかり**  
広報

平成14年度「村づくり住居のつどい」が2月17日に公民館で開催されました。毎年著名な方を講師に迎えて行われるこのつどいですが、今回は、元読売ジャイアンツの投手で現在は野球解説者として活躍している、植原寛巳氏を講師に迎え「巨人軍生活を振り返って」というテーマで講演されました。講演では、中学・高校時代の野球生活や教員生活とのF&Aに力が入るエピソード、完全試合を達成したときのこと、プロ野球界の風潮などを話していただきました。また、講演の後半では、会場に来ていただいた小学生・中学生の野球部員に直接指導するコーナーや記念撮影もあり、野球好きにとって貴重な一時間となりました。

寂敷みんなどお読みください。 平成15（2003）年3月13日

2003年3月号広報まっかり

八洲秀章さんの生涯を一冊に

真狩村出身の作曲家、八洲秀章さんの伝記「さくら貝と歌〜八洲秀章の生涯」を二月二十八日より販売いたします。

A5判 定価三、〇〇〇円

この本は、同じく真狩村出身で現在東京在住のフリーライター・下山光雄さんが、東京鎌倉、札幌での取材をはじめ、関係者の寄稿やインタビュー、さらには羊蹄ふるさと館の資料などをもとに約一年間かけてまとめあげたもので、村内関係者はもちろん北島三郎さんや島倉千代子さんからのコメントなど音楽関係者が多数登場します。

八洲秀章（本名 鈴木 義光）さんは、開拓者の次男として生まれ農作業に従事するものの、十七歳のときに大きなけがをし、これを契機に作曲を志します。

上京してからも多くの苦難



それから十八年が経過し、八洲さんを知る世代も少なくなってきたこと、村の文化、芸能に大きく貢献されたことを記録に残すことが求められていたことから、このたびの出版となりました。

この本から「拓者の精神」「郷土愛」「両親への感謝」など多くのメッセージを受け止めていただき、村内外に広く購読いただきますようお願いいたします。

本の購入を希望される方は、役場振興課窓口にて取り扱っておりますので、ぜひとも問い合わせください。

また、村外からの希望は、代金を次のほうまで希望は、いただいた後、郵送いたします。

お問い合せ先  
真狩村役場振興課  
真〇一三六―四五一三六―三  
五〇一三六―四五一三六―三  
郵便振替 振興課直進  
〇二七九〇―四一―二八〇〇  
口座名 真狩村役場  
銀行振込  
北海信用金庫真狩支店  
口座名 普通 二四八二―  
真狩村収入役

2003年3月号広報まっかり



そば打ち 勉強できました 真狩で「教室」

【真狩】公民館講座「そば打ち教室」が十八日、村の趣味サークル「ひまわりクループ」（佐々木孝代氏のメンバー）を講師に迎えて開かれた。つなを一切使わない「土型そば」づくりに取り組んだ。

参加者は自宅から包丁やめん棒を持参する熱の入れよう。講師を務めた野久仁子さんの実演のあと、参加者はグループに分かれ、「切る時

評価は上々

「は力を入れないで」「そばが乾くので作業は早く」「ななど指導を受けながら、そばを打った。

完成したそばを頭んどの試食会では、ごちそう。

我流でやっていた部分もあり、大変勉強になりました」と評価は上々。男性では一人参加した妹尾清美さんは「初めての体験でしたが、風切ったのが簡単でした」と感嘆していました。（板敷千穂通信員）

2003年12月20日北海道新聞



先ずの手はとぎで挑戦したモーター作り

回れ！手作りモーター 真狩講座 子供講座

【真狩】村教委主催の子供講座「木曜館」がこのほど、村公民館で行われ、村内の小・中学生から三年生までの三十人がモーター作りに挑戦した。

エナメル線でコイルを巻き、電流を導くと、周囲の永久磁石の間の反発力で回る。講師を務めた真狩高の先生の指導を得て、子供たちはお互いに教え合いながら、熱心に取り組んだ。

低学年の児童には少し難しかったようで、時間内にはコイルを回すところまでいかなかった子供も多かったが、「なぜ回らないの？」と質問し、「家に持ってきて回してみせる」と口々に話していた。（板敷千穂通信員）

2003年12月22日北海道新聞



枝豆や男爵イモ 楽しく植え付け 真狩の体験活動

【真狩】「真狩」は、秋の収穫祭として、毎年10月に行われる。今年も、小学1年生から小学6年生まで、約100名の子供たちが参加し、楽しく植え付けを行った。今年も、小学1年生から小学6年生まで、約100名の子供たちが参加し、楽しく植え付けを行った。



枝豆やジャガイモを植える子供たち

2004年5月31日北海道新聞

真狩小2年生16人 種を集めて鉢植え

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、桜の花が咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、桜の種を集めて鉢植えを行いました。



【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、桜の花が咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、桜の種を集めて鉢植えを行いました。

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、桜の花が咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、桜の種を集めて鉢植えを行いました。

2004年7月8日北海道新聞



熱戦を繰り広げる両町の選手たち

一度限りのプレイ

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、桜の花が咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、桜の種を集めて鉢植えを行いました。

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、桜の花が咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、桜の種を集めて鉢植えを行いました。

2004年7月30日北海道新聞

ユリの黄色鮮やか



【真狩】「ユリの黄色鮮やか」の研究会、小野寺会長、会員15人が、毎年行っている「ユリの黄色鮮やか」の発表作品が真狩ラフォーレで展示されている。

【真狩】「ユリの黄色鮮やか」の研究会、小野寺会長、会員15人が、毎年行っている「ユリの黄色鮮やか」の発表作品が真狩ラフォーレで展示されている。

2004年9月24日北海道新聞









**真狩村高齢者生活支援ハウス「ぬくもーる」が完成しました！**



広報 まっかり 2005 No.480

かねてより建設が進められていた高齢者生活支援ハウス「ぬくもーる」がこのほど完成しました。「ぬくもーる」という名称は、2月に愛称の募集を行い、その結果選ばれたものです。（多数のご応募ありがとうございました。）この高齢者生活支援ハウスは、単身や夫婦のみの世帯で専任において独立した生活を送ることに不安のある高齢者に対して、介護支援、居宅、交流の各機能を総合的に提供するために建設されたものです。施設内には、居室のほかみんなで集える集客室や相談室などがあり、また日常生活を支援する生活援助員がいます。部屋は単身者向けが8世帯と夫婦向けが1世帯の合計9つの部屋が用意されています。

小さいけれど日本一輝いている村  
 ■発行/北海道札幌支庁真狩村  
 〒048-1851  
 北海道札幌支庁真狩村字真狩118番地  
 TEL 0136-45-2121(代) FAX 0136-45-3162  
 http://www.makkarj.info  
 ■編集/総務課総務係  
 ■平成17年4月10日発行

2005年4月号広報まっかり



羊蹄山真狩登山口のコース開きで、南コア山登山を楽しむ親子ら

【真狩】本格的な登山コースを開き、羊蹄山（二、八九八）真狩登山口で、羊蹄山登山を安全に楽しむ親子らが行われ、南コア山へ向かう。折り返しの後、佐々木和男村長がテープカット。羊蹄山登山口で、羊蹄山登山を楽しむ親子ら。羊蹄山登山口で、羊蹄山登山を楽しむ親子ら。羊蹄山登山口で、羊蹄山登山を楽しむ親子ら。

**羊蹄山 真狩コース 山開き**

村建設の「同窓会」

総務課総務係は「昔は比べたことがなかったが、最低限の準備は守ってほしい」と話している。（記者手記通信）

2005年6月22日北海道新聞

**サクラの苗木 児童にお返し**

真狩の保存会  
 拾った実から10株に生育  
 【真狩】サクラの木は、三、五年生十五、二十センチの苗木を、児童に返す。児童は「苗木を返すことは、花を咲かせることが大切だ」と話した。



で児童が返した実を植えて、苗木を返す。児童は「苗木を返すことは、花を咲かせることが大切だ」と話した。児童は「苗木を返すことは、花を咲かせることが大切だ」と話した。児童は「苗木を返すことは、花を咲かせることが大切だ」と話した。

2005年7月7日北海道新聞

**黒柳直理さん・細川たかしさん 観光大使に委嘱されました**  
 真狩村には馴染みの深い美容師でエッセイストの黒柳直理さんと、真狩村が生んだ歌手の細川たかしさんに、観光協会から観光大使に委嘱されました。黒柳さんは、村の観光名所となっているフラワールードのゆり植えに参加したり、講演を行ったりと、これまでいろいろななかたちで村に関わってきました。また、細川たかしさんについてはいうまでもありませんが、真狩村の名を全国的に広めた第一人者でもあります。お二人には、村の地域活性化のためにこれまで以上に真狩村をPRしていただきたいと思えます。



陰能観光協会会長から委嘱状を受け取る黒柳さん

2005年7月号広報まっかり

# 羊蹄山麓の味覚ぎっしり

らんこし米、真狩産ユリ根、留寿部の豚肉…

## 新しい弁当完成

商工会青年部 星沢幸子さん監修



ユリ根、ジャガイモ、トマト等、羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった弁当が完成した。羊蹄山麓六町村の商工会青年部が連携し、テレビ番組などでの料理研究家佐幸さんが「ユリ」作りを指導。発売時期、価格とも未定ながら、「羊蹄地域の新たな名物」と関係者期待を寄せている。

その名も「らんこし」飯。真狩産ユリ根、留寿部産豚肉を使った「ミートローフ」、真狩産ユリ根が入った「おぼろぎ、ポテトサラダ」など十品が盛り込まれた。管内の各町で弁当の試食会が行われ、関係者から好評が寄せられた。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。試食会には、各町会だけでなく、関係者も参加した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。試食会には、各町会だけでなく、関係者も参加した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。



星沢さんも出席した試食会



カサランカ市などでにぎわった花フェスタ

## 花ユリ両手、いよいよ

真狩で花フェスタ 格安販売が盛況

【真狩】夏の恒例行事「花フェスタ」が、真狩で盛況を博している。花フェスタは、真狩産ユリ根、留寿部産豚肉、らんこし米など、羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった弁当が完成した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。試食会には、各町会だけでなく、関係者も参加した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。

2005年8月8日北海道新聞

2005年11月8日北海道新聞

## 1日遅れでパーティー

村内のレストラン

【真狩】村内緑岡のレストラン「マッカーリナ」で二十六日、「二日遅れのクリスマスパーティー」が開かれ、村民約八十人が楽しいひと時を過ごした。写真は、同パーティーはレストランと村との共催で、今年で三回目。恒例行事と



午前中は、菅谷伸一

2005年12月28日北海道新聞

## て 微妙な味覚見極め



【真狩】真狩産ユリ根、留寿部産豚肉、らんこし米など、羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった弁当が完成した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。試食会には、各町会だけでなく、関係者も参加した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。

【真狩】真狩産ユリ根、留寿部産豚肉、らんこし米など、羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった弁当が完成した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。試食会には、各町会だけでなく、関係者も参加した。関係者らは「羊蹄山の味覚がぎっしり詰まった新しい弁当が完成した」と喜んでいる。

2006年2月1日北海道新聞



ビスケットにチョコレート♪ランラン



菓子づくり楽しいな

真狩で親子34人が挑戦

【真狩】村教委主催の子供餅作りのほかに、村公民館調理室で行われ、親子共々楽しみながら取り組んだ。

（板敷千穂通信員）

小学一年から四年までの子供たち延べ約三十四人が参加。村内でパン店を営む神野善人さんが、アーモンドビスケットとチョコレートマインの作り方を手伝った。

子供たちは、二人組で生地を綿密に捏ね、思い流しに飾りつけ、個性溢れる作品を披露。そんな中、三年生の三浦菜花君は、神さんか手際の良いを、パティシエなれよと褒められた。オリーブの設置を間違え、焦げてしまったお菓子が、出来上がったお菓子に子供たちは目を輝かせて早速試食、「おいしいの音がした。」

2006年2月22日北海道新聞

【真狩】真狩小（菊池）の勇校長、九十二人は、子供たちを学校、地域一体にならして守るシノボルとしてのスクールガードジャンパーを作製。三学期から登下校の交通指導などで活用された。

全国的に子供たちが被害に遭う事件が多発し、村内でも学校や父母らは不審者等に神経をがらせている。

同校は、安全対策の一つとして学校、地域が連携して子供たちを守るスクールガード（学校安全ボランティア）の体制づくりに取り組んでいる。

その一環で作製したのがスクールガードジャンパー。遠くからでも子供たちに分かるように、と

スクールガードに特製ジャンパー 子供守る緑色



スクールガードジャンパーを着て登下校指導をする真狩小教諭

真狩小

校時などに利用している。子供たちからは「目立ち過ぎ」の声もあるが、菊池校長は「家庭や学校、地域が学校のまわりを愛するジャンパーとして」と目立ってほしいと効果を期待している。

（宇治橋元香）

2006年2月25日北海道新聞

お年寄りとアメ作り挑戦



真狩で世代間子どもたちが交流

【真狩】村教委主催のお年寄りとお年寄り共約六十人が、お年寄りクラブ（福寿会）の協力で、村公民館調理室で行われ、親子共々楽しみながら取り組んだ。

（板敷千穂通信員）

小学一年から四年までの子供たち延べ約三十四人が参加。村内でパン店を営む神野善人さんが、アーモンドビスケットとチョコレートマインの作り方を手伝った。

子供たちは、二人組で生地を綿密に捏ね、思い流しに飾りつけ、個性溢れる作品を披露。そんな中、三年生の三浦菜花君は、神さんか手際の良いを、パティシエなれよと褒められた。オリーブの設置を間違え、焦げてしまったお菓子が、出来上がったお菓子に子供たちは目を輝かせて早速試食、「おいしいの音がした。」

2006年3月10日北海道新聞



真狩高女子バレー部の全道優勝を報告した、主将の佐々木さん（中央）たち

高大会制全道 真狩女子バレー初V

【真狩】真狩高の女子バレー部（部員九名）が、してもきき限り支援を十八日に岩見沢市で行われた全道大会で初優勝し、開校以来初めてとなる全道大会出場を決めた。部員らと声掛け、佐々木さんが十九日、村役場を訪れ、「頑張る」と笑顔で応えていた。

全道大会は八月九日から東京都で開催される。

（板敷千穂通信員）

2006年6月21日北海道新聞





















置たるまの製作準備に汗を流す真狩村職員たち＝2日午後5時10分（浜本道夫撮影）



富岡美人 雪の歓迎

【富岡】北海道富岡町で2日午後5時10分、真狩村職員たちが汗を流して、置たるまの製作準備を進めていた。置たるまは、真狩村の伝統行事で、毎年10月に行われる。置たるまは、真狩村の伝統行事で、毎年10月に行われる。置たるまは、真狩村の伝統行事で、毎年10月に行われる。

4日 洞爺湖 サミット

2008年7月3日北海道新聞

真狩高生と児童がキャンドル 「平和」願うハートの光

湖サミットが開幕する七日夜に行われる「ガイアナイト」に先立ち、真狩高生と村内の小学生が三日、公民館ホールでユリ花粉で黄色く染めたキャンドル二百個を灯し、ハートと「P



キャンドルの火で幻想的に浮かび上がったハートと「PEACE」（浜本道夫撮影）

EACE（平和）の上がられた。文字を幻想的に浮かび 各家庭の電気を消し

2008年7月5日北海道新聞



地元産の食材 対面販売好評

【富岡】北海道富岡町で2日午後5時10分、真狩村職員たちが汗を流して、置たるまの製作準備を進めていた。置たるまは、真狩村の伝統行事で、毎年10月に行われる。置たるまは、真狩村の伝統行事で、毎年10月に行われる。

約1300人が訪れた市場「北のまるし」とは、野菜などは、新鮮な食材が並び、地元産の食材が対面販売されている。地元産の食材が対面販売されている。地元産の食材が対面販売されている。

2008年7月6日北海道新聞

歓迎ムード 伝わった



洞爺湖サミット 児童ら小旗の波 道産食材も提供

洞爺湖サミットが開幕する七日夜に行われる「ガイアナイト」に先立ち、真狩高生と村内の小学生が三日、公民館ホールでユリ花粉で黄色く染めたキャンドル二百個を灯し、ハートと「P

2008年7月9日北海道新聞



新中外務事務官が来場し、北海道産物の魅力を発信し、消費拡大を促すことを目指しています。この活動は、北海道産物の魅力を発信し、消費拡大を促すことを目指しています。

四月から野営していたコシノチナ産、教職員が二十三日、四日間にわたり、野営地を回り、消費拡大を促すことを目指しています。



夏の買だるまで歓迎しました。野営くたえ(左のまろし)。食糧はみみね電(北のまろし)。

私たちの家庭生活からも大量のCO2が排出されていて、その量は世界あたり年約約100kg、1人あたりすると約100kgとなり、これは日本の平均CO2総排出量の約約1割に相当します。

### 今日からうちエコ②電気の使用を減らそう

1. テレビ・パソコン  
つけっぱなしはせず、使わないときは電源を切りましょう。(基本1)

2. 冷蔵庫  
ものを詰め込み過ぎない、開け閉めはすばやく!

3. 電球  
LED電球の導入がおすすめです。LED電球は省電力で、寿命も長いです。

4. 照明器具  
54Wの白熱電球と、同じ明るさに相当する12Wの電球型蛍光灯を比べると、蛍光灯の寿命は白熱電球の約6倍、電気代は1/4以下です。

※省電力(特約消費電力)って?  
電気製品を使わないときでも消費されている電力のこと。タイマー機能のテレビやビデオ、電子レンジも、コンセントにつながっている間は電気を吸っています。

5 まっかり

## 北海道洞爺湖サミット開幕!

### 真狩村でもこんなことがありました

七月七日の洞爺湖サミット開幕に合わせ、洞爺湖周辺で環境美化活動が行われました。真狩村でも、この活動に参加しました。

七月三日に北海道庁で行われたサミット準備会議で、洞爺湖周辺の環境美化活動が決定しました。

洞爺湖周辺の環境美化活動は、七月五日から七日までの三日間、洞爺湖周辺の環境美化活動が行われました。

洞爺湖周辺の環境美化活動は、七月五日から七日までの三日間、洞爺湖周辺の環境美化活動が行われました。



エコカー(電気自動車)と小平生。洞爺湖周辺の環境美化活動に参加しました。

## 2008年8月号広報まっかり

### 個性派そろいムラの宝物

個性派そろいムラの宝物。地域の魅力を発信し、消費拡大を促すことを目指しています。

ゆるキャラ、郷土料理、風景... 1次登録87件

観光振興を支援

今年も「中級」もやりやす

羊蹄山麓観光ガイド検定

11月16日に第2回試験

出題の可能性があり、受験希望者はぜひ受けてほしいと話している。

受験料は初級、中級とも三万円(高校生半額)。研修講座は初級、高校生は無料。中級、一般の申し込みは十月五日まで。申し込みは十月五日まで。申し込みは十月五日まで。

0136-53-2206 (竹村康治)



### 園児包む特大リース 真狩



【真狩】まっかり保育所 供たちを喜ばせている。に、直徑約一、三十センチのジ 贈ったのは村松川の齋藤 透さん(三)で、奇題は三回 保健福祉センターで学童保

目。自宅近くの林からマツの枝を切り出し、今年は村

リースに入って笑顔を見せる子供たち

育の子供たちと一緒に制作した。ヤナギの木で作った輪にマツの枝を巻き付け、大きな赤いリボンを付けた。この後、リースを保育所を運んで取り付け。齋藤さんのアイデアで、子供たちが赤や白、黄色の手袋をはめて、リースの「飾り」になった。大きな輪の中にすっぽりと入った子供たちは「大きいね」と笑顔を見せていた。リースは年々大きくなっており、齋藤さんは「来年も子供たちと一緒に作りたい」と話している。(竹村康治)

2008年12月25日北海道新聞

### ユリ花粉でキャンドル

真狩高校生が 村内で販売



【真狩】真狩高校生が、まっかり温泉で販売されている。村名産のユリの花粉で黄色く色付けした廃油キャンドル。三年生六人の手作り。村内の食堂で使った天ぷら油などをユリ花粉で黄く色付けし、同校で栽培するシクラメンの紫色や白色の花びらを入れて固めた。昨冬の村内のイベントで計六百個を並べたキャンドルに、改良を重ねて商品化にこぎ着けた。生徒たちは「真狩村の新しいお土産として定着してほしい」と期待している。同校は現在、冬休みのため在庫は約七十個の限定販売だが、授業が始まる十九日から「製造」も再開される。(内藤景太)

道の駅やまっかり温泉で販売されている真狩高校生考案のユリ花粉キャンドル

2009年1月7日北海道新聞

### スノーモービル70台疾走

#### 真狩で初の全道大会



【真狩】全道スノービル選手権真狩大会(実行委主催)が十八日、村内光のフラワーカーキング周辺の特設会場で開かれ、道内各地から参加した選手たちが白熱したレースを繰り広げた。開戦となる大会には三十六人、約七十台が出場。ジャンプ台などが設けられたコースを、雪煙を上げながら疾走した。初めて「スノービルラド」を運営する佐伯秀嗣さん(三)の女性も、走ると言うより飛んでいると驚いて、実行委員が役員ラッシュを取って、第一戦は一月二日に上川管内美瑛町で行われる。(板敷千穂通信員)

迫力あるレースを展開する選手たち

2009年1月23日北海道新聞

### 高齢者の活躍に拍手

#### 「いい爺いライダー」上映



【真狩】星管内町と旧鹿部町の合併と、お年寄りたちがどか町鹿部地区の高齢者材にした。合併反対者たちが制作した映画「いい爺いライダー」の上映会と、出演者ら地域や世代間の対立をにぎやかに描いた。五日後、村公民館で開かれた。風のあるミニシカル村教委の生涯学習講座「トークショー」では、ほろ「ミニシカル」脚本を担当した元町謙三(三)の第三弾で、員の斎藤征義さん(三)二〇〇六年の旧鹿部川町が「加齢」を撮っている

んと元気になって、能くを披露。制作委員と映画作りの、効一さん(八)は、映画の予出編が総務省から表彰されたことに胸を膨らませ、「やめるとやめられなくなった。命がけの映画作りで」と話し、笑いを誘った。

2009年3月7日北海道新聞







**真狩**  
**筆運び、語りも軽妙**  
 長谷川さん絵本ライブ

【真狩】絵本作家、長谷川義史さんの「絵本ライブ」(村子どもたちの読書活動推進委員、後援：真狩町教育委員会)が6日、村公民館で開かれた。真狩。大阪在住で、自作の200人の親子連れを「いいからいから3」(絵本館)が本年度、上川管内剣淵町の第19回けんぶち絵本の里大賞に選ばれた。絵本ライブでは「う



なぎやのおじさんの話」と「めんこくさいの話」を披露。墨と筆でささると絵を描きながら、関西弁の軽妙な語り口と絶妙な間合いで、客席を埋めた約200人の親子連れを「いいからいから3」(絵本館)が本年度、上川管内剣淵町の第19回けんぶち絵本の里大賞に選ばれた。絵本ライブでは「う

うまいもんのうた」をつらら子どもたちと村の30代の女性は「親子で楽しめた。帰(板敷 穂通信員)

うまいコーヒー いれ方のコツは 【真狩】村教委主催の公民館講座「コーヒー講座」が村公民館で開かれ、約30人がコーヒーをおいしくいれるコツを学んだ。



が用意され、高野さんは「お湯の温度は90度、抽出時間は約3分」など説明。参加者は香りや酸味などの違いをた。板敷千穂通信員

2010年3月6日北海道新聞

2010年4月27日北海道新聞

**まっかり村 歌 うまい王決定戦**

**2010 4 No.530**

**広報 まっかり**

初代まっかり村 歌うまい王決定！

3月7日、真狩村公民館を会場に、「第1回まっかり村歌うまい王決定戦」が行われ、決勝戦で、原田道嗣さんが村加藤子さん(ともに学加野)を下し、初代王者に輝きました。これは「まっかり村を愛しむ会」が主催したチャリティイベントで、当日の飲食物販売の売上の一部と出場者の基金が、村の子どものための教育のために寄付されました。(10ページに掲載記事)

小ざいけれど日本一輝いている村

■発行：北海道旭川市真狩村 千040-0237  
 北海道旭川市真狩村学農庁118号地  
 TEL 0138-45-2121(代) FAX 0138-45-3162  
 http://www.makkarri.info  
 ■編集：村公民館教育推進委員  
 ■平成22年4月10日発行

2010年4月号広報まっかり

**おめでとう！！**  
**西田順風くん 全国優勝！**

二小から東に頑張っている西田くん、応援したくなる、西田順風

▲全国高校スキー大会で初優勝！

今年二月に札幌市古道山麓で行われた全国初めスキー大会、本村出身で、前年高校三年の西田順風くんが、準決勝で優勝し、26分3秒でゴールした。西田くんは、この大会で初優勝を飾り、2位に終わった。西田くんは、この大会で初優勝を飾り、2位に終わった。西田くんは、この大会で初優勝を飾り、2位に終わった。

▲全国中学スキー大会での力足 (左から7人目)

2010年4月号広報まっかり



【真狩】第47回後志  
最優秀賞の表彰を受ける気田さん  
(右から3人目)

【真狩】第47回後志  
最優秀賞の表彰を受ける気田さん  
(右から3人目)

【真狩】第47回後志  
最優秀賞の表彰を受ける気田さん  
(右から3人目)

2010年9月3日北海道新聞

### 一番おいしい 男爵に一票を

【真狩】一番おいしい誕生する。  
いシャガイモを投票で  
選ぶ「第1回MKP総  
選挙」道の駅杯シャガ  
イモ選手権」が23日、  
道の駅真狩フラワーセ  
ンターで始まった。農  
家8戸がトーナメント  
方式で競い、10月10日  
に初代チャンピオンが  
誕生する。

いすれも道の駅隣の  
農産物直売所に出荷さ  
れている男爵イモで、  
投票は10月10日まで  
土、日曜日(午前10時  
午後3時)に行われ  
る。来場者が2戸のふ  
かしたイモを食べ比  
較して、おいしかった方  
に投票する。



2010年9月26日北海道新聞

### 羊蹄観光ガイド検定引き継ぎ 「まちしるべ塾」設立

【真狩】羊蹄山麓広  
域観光ガイド検定試験  
を引継ぎ新組織「羊  
蹄まちしるべ研究塾」  
の設立総会が1日夜  
村交流プラザで開か  
れ、事業計画などを決  
めた。検定試験のほか、  
ゼミ形式の勉強会や出  
前講座などを実施、ホ  
ランチームを原則に運  
営することを確認し  
た。

会員はこれまでに、  
受講・受験者や運営に  
かかわる人を中心に法  
定組織の運営方法を  
拡大して実施する。  
本年度は、来年4月  
の本格スタートに向け  
て組織固めや運営方法  
を進められていた。

(竹村康治)

2010年10月6日北海道新聞

### 子ども達の読書活動推進員さん、大活躍！



9月4～5日の村民お祭り広場 ほくほく祭りに併せ 村子ども達の読書活動推進委員の皆さんがフリーマーケットを出店しました。

これは、推進委員会の活動PRを兼ねて企画したもので 2日間で延べ72,838円の収益がありました。この収益金で 10月12日に保健福祉センターにて開催される人形劇への協賛や 11月25日の読書まつりに披露する大型絵本を購入するなどの本に親しむ活動に活用します。

今後も推進委員会の活動に、ご支援 ご協力願います。

2010年10・11月号広報まっかり

8ミリフィルムで観光ビデオ

【真狩】村は昔の暮らしや行事などが撮影された家庭の8ミリフィルムをデジタル化し、観光PRビデオを制作する事業を進めている。貴重な映像を保存、後世に残す取り組みで、昭和20年代から50年代に村を撮影したフィルムの提供を呼び掛けている。

昭和の真狩、デジタル化

8ミリフィルムは、家庭用ビデオカメラの普及に伴い、使われなくなった。映写機はほとんどなくなり、映像を見るのが難しくなっている上、フィルム自体の劣化も進んでいる。

風景、行事…村が提供呼び掛け



探しているのは、村代、60年代に撮影された風景、街並み、商店、たけな本のフィルムが、街の農作業風景や子どもたちの様子などが写っている。内容は一部しか確認できていないが、かつての真狩の風景が、5人から昭和90年代まで行われていた「ほん」フィルムから奪取された。

2010年10月23日北海道新聞



【真狩】12月で引継ぎになる「池田のおばちゃん」は、毎日編み物に励み、編んでいるのは毛糸のベスト。友人の世話になった人に贈り、その数は70枚を超えた。「喜んで着てもらえたらいいわ。心をこめて」針を刺したベストが、体と心を温かく包む。（板敷千穂通信員）

真狩 90歳の池田チセさん

編み続け170枚「友に恩返し」

【真狩】池田チセさん（90歳）は、友人の世話になった人に贈り、その数は70枚を超えた。「喜んで着てもらえたらいいわ。心をこめて」針を刺したベストが、体と心を温かく包む。（板敷千穂通信員）

2010年11月30日北海道新聞

手回しオルガンのハンドルを回す子供たちと谷目さん（左）



ハンドルぐるり 優しい音色

【真狩】第30回村読書まつり（村読書活動推進委員会主催）が25日、村公民館で開かれ、函館市のオルガン作家、谷目基さん（43）の手回しオルガン演奏会などが開かれた。

手回しオルガン演奏 子供たち体験

真狩読書まつり 子供たち体験

手回しオルガン 不思議そうだった。は、ハンドルを回して送った空気が、譜面になっていく。おぼろげな音や、ウーという紙を通り抜ける音が、まるで生きているように聞こえる。木村さんの材料を自ら調達、1台制作するのに半年以上かかっていた。（板敷千穂通信員）

2010年12月1日北海道新聞



後志総合振興局の神前二局長から最優秀賞を受ける神山さん（中央左）と優秀賞の神坂さん（左端）

【真狩】の神山さん栄冠。後志で農業青年がアグリフオーラム【ようてい】後志管内の10青年農業者団体で構成するグループ「STA」が選ばれた。

神山さんは、昨年引き続き、真狩ドリムフアクターズで行った「堆肥の活用による肥料コスト削減」について、さまざまな試みをした成果や課題を発表した。

優秀賞には、アグリマ対策を発表した共和町の

2010年12月21日北海道新聞



この日は開所式がセンターにて行われ、来賓や関係者、育児サークルの親子12組が出席しました。  
佐々木村長の挨拶、職員の紹介の後、担当保育士によるうたと手遊びが始まり、皆さん一緒に楽しんでいました。その後はさっそく室内のおもちゃを使って親子で遊んでいたり、お母さん同士の会話ははずんでいました。



2010年12月号広報まっかり

【真狩】村教委は、9日に公民館で行う成人式で、新成人に本を贈る「20歳の20冊」事業を実施する。出版文化産業振興財団（東京）が昨年8月、全国の自治体を対象に始めた企画で、道内では今回、胆振管内壮瞥町と釧路管内厚沢部町でも行われる。  
ファッションモデルの杏さんや文芸評論家の北上次郎さんら6人が、「20歳に読んでほしい20冊」

## 新成人 良い本を読んで

真狩村教委 出席の19人に1冊贈る

を選び、この中から新成人が希望する1冊を贈る。村教委が事前に新成人25人に20冊のリストを送付し、式に出席する19人にプレゼントする。  
20冊にはノンフィクションや小説など幅広い分野の作品が選ばれており、新成人19人の中では、吉川英治文学新人賞を受賞した青春小説「夜のピクニック」（恩田陸）の人氣が高かった。  
（竹村康治）

2011年1月8日北海道新聞

### 12/12 北海道警察音楽隊と カラークラウド隊演奏会

公民館にてコンサートが行われ、約百六十人が埋ちある演奏を楽しみました。

これは村づくり研究会二十周年を記念して企画されたもので、佐伯秀範会長は「平成五年に歓迎花壇を作り翌年アワードロード事業が始まり今や夏の風物詩になりました。強き心で「理解」に協力に感謝します」と挨拶しました。

コンサートでは、「お正月」などの童謡やクリスマスの曲、村出身の演歌歌手細川たかしさんの「北酒場」が演奏されました。カラークラウド隊が登場し、交通安全を啓蒙する寸劇や楽しい動きまわりの演奏に、楽しいひとときを過ごしました。



2011年1月号広報まっかり

### 2/13 清水園遊をめぐり



タレントの清水園遊さんを招いて、「子ども・若者支援講演会」が公民館にて行われました。

清水さんは、今の社会は不自然だと思う、自然の近くに住めるように自然な人間関係や慣ちになる、七原口養正養校（山形県）を訪問した経緯をお話くださいました。また、真狩へのわくわくする聖歌も、清水さんの、コーヒーでエネルギッシュな語り口に、来場者は楽しく聞かれました。

真狩にたぐれんのかを葉まつて「楽しい」たになりまうものだ。

2011年4月号広報まっかり







# 油彩、彫刻、版画：40点

真狩村 公民館 あすまで近美移動展

【真狩】道立近代美術館の移動美術展が19日、村民館で始まった。近代美術館所蔵の、明治から平成にかけての油彩や彫刻、版画など40点が展示され、住民らでにぎわった。

「北海道美術の精華40選」と題し、林竹治郎の油彩「朝の祈り」や中原二郎の彫刻「若き力フカス人」など名作がずらり。鑑賞



移動美術館の作品に見入る中学生ら

【真狩】道立近代美術館の移動美術展が19日、村民館で始まった。近代美術館所蔵の、明治から平成にかけての油彩や彫刻、版画など40点が展示され、住民らでにぎわった。

「北海道美術の精華40選」と題し、林竹治郎の油彩「朝の祈り」や中原二郎の彫刻「若き力フカス人」など名作がずらり。鑑賞

「いがよく分かる」と話し、作品に見入っていた。

展示は23日までの午前10時～午後5時。22、23日には彫刻家、米坂ヒデノリさんが制作した、78体のフロンズ像による「三管編成オケストラ」が特別展示される。また、23日は近美学芸員による美術鑑賞入門講座も行われる。(板敷千穂通信員)

# 楽しく紙人形作り

真狩 講習と劇公演に60人

【真狩】ペープサーと呼ばれる紙人形劇の公演と、人形作りの講習会(実行委主催)が9日、村民館で開かれた。村民のほか、胆振管内壮瞥町などから計60人が参加した。



【真狩】ペープサーと呼ばれる紙人形劇の公演と、人形作りの講習会(実行委主催)が9日、村民館で開かれた。村民のほか、胆振管内壮瞥町などから計60人が参加した。

国際人形劇連盟日本センター幹事で全国で公演を行っている、わけみずえさん(53)が講師を務めた。

参加者たちは、タヌキやカエルなど、表情がみで走らせたり、表

わけさん(右)から、紙人形の動かし方を学ぶ参加者たち

裏をひっくり返すことで、動きや物語を表現した。

また、公演では、わけさんが鬼やウサギ、サルなど7体の紙人形を自在に操って劇を披露し、参加者たちはテンポの良い語り口に引き込まれていた。(板敷千穂通信員)

2011年10月17日北海道新聞

2011年10月22日北海道新聞

# 「全日本」スリッパ卓球

来月22日開催



【真狩】スリッパ卓球の大会が、2011年11月22日(土)に真狩村公民館で開催される。今年で20周年を迎える。今年も「楽しい大会」のテーマで、参加者の楽しさを第一とする。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。

【真狩】スリッパ卓球の大会が、2011年11月22日(土)に真狩村公民館で開催される。今年で20周年を迎える。今年も「楽しい大会」のテーマで、参加者の楽しさを第一とする。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。

【真狩】スリッパ卓球の大会が、2011年11月22日(土)に真狩村公民館で開催される。今年で20周年を迎える。今年も「楽しい大会」のテーマで、参加者の楽しさを第一とする。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。大会は、スリッパ卓球の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。

# 大広さん(2年)川柳大賞

親子の触れ合い素直に

【真狩】川柳大賞の大会が、2011年11月22日(土)に真狩村公民館で開催される。今年で20周年を迎える。今年も「楽しい大会」のテーマで、参加者の楽しさを第一とする。大会は、川柳の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。大会は、川柳の普及を目的として、初心者から上級者まで参加できる。



三歳から川柳に興味を持ち、真狩村2年の大広さん

2011年12月3日北海道新聞

2011年12月14日読売新聞

